

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習Ⅲ		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
鈴木 真吾 他	B309	shsuzuki	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>社会福祉学や心理学の基盤であるコミュニケーションの基本に基づき、自己と社会とのかかわりや社会の一員としてのあり方や職業役割について考えを深める。具体的には、各受講者が各自のキャリア形成におけるマイテーマを設定し、その取り組みの過程から、社会適応的でありつつ、精神的健康を満たせる自らの人生価値観を明確化していく。</p> <p><概要>自己と社会とのかかわりに関する調査・分析を繰り返すことにより社会的存在としての「人」を意識する。また、発表や討論を通して社会の一員としてのあり方や職業役割についての自らの考えを言語化、社会適応に他者評価が付随することを体感する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	課題やグループワークが多い体験型授業であるため、積極的な受講態度を求める。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	随時紹介する。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	自己・社会の理解に係る見識を多様な視点で調べることができる。			HC(3)	
②	自己と社会との多様な関わりについて理解し、考察できる。			HC(1)、(2)	
③	適切なプレゼンテーションを行うことができる。			HC(4)、(6)	
④	専門的な学びがキャリアデザインに如何に活かせるかを省察し、適切に言語化できる。			HC(4)、(6)	
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	<p>オリエンテーション：演習による自己成長の目的を理解する。</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (プレ)： マイテーマ (社会的コンテンツで好きな物事・事象) を3点、 キャリアデザイン (就業したい職業・職種) を2点、 以上を整理・統合して発表できる準備をする。</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (中間発表会) ①</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (中間発表会) ②</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (リベンジ)： マイテーマ (社会的コンテンツで好きな物事・事象) を3点、 キャリアデザイン (就業したい職業・職種) を2点、 以上に関して、中間発表会の振り返りに基づき、改めて整理・統合して、最終発表できる準備をする。</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (最終発表会) ①</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (最終発表会) ②</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (取りまとめ) ①</p> <p>マイテーマとキャリアデザイン (取りまとめ) ②</p>	講義・演習・GW	シラバス・配付資料を熟読し、発表に向けた準備を行う。	3	
2		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	3	
3		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	3	
4		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	3	
5		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
6		プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	4	
7		プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	4	
8		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
9		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
10		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
11		講義・演習・GW	必要な調査を行い、情報を整理・統合して発表準備を行う。	4	
12		プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	5	
13		プレゼンテーション	評価を受けて発表を振り返る。	5	
14		講義・演習・GW	発表会を受けて、自身のキャリアデザインをまとめる。	5	
15		講義・演習・GW	発表会を受けて、自身のキャリアデザインをまとめる。	5	
試	/				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	10	40	0	50	100	
総合力指標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10	
	思考・推論・創造する力	0	5	5	0	5	15	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	15	20	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
問題を発見・解決する力		0	5	5	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
レポート	①	✓	取りまとめのレポート課題を作成する。10点の配点とする。演習内の取組みを真摯に振り返り、よく整理・統合された構成であるか否かを評価する。				コメントを付して返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	発表の内容・構成及び聞き手を意識した伝え方等のプレゼンテーション、質疑応答時の対応等を評価する。また、他者評価も行い、配点に含める。中間発表会 20点、最終発表会 20点とする。				講義中に総評を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	演習への取組み（練習、グループワーク等）を総合的に判断する。				講義中に総評を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他担当教員	瀧口 綾							
教員の実務経験	鈴木 真吾：臨床心理士また公認心理師として 21 年の臨床経験を有する。 瀧口 綾：臨床心理士また公認心理師として 24 年の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	心理実践の英知を活かして、キャリアデザイン構築につながる自己分析を指導する。							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 本演習で単位取得できない場合、原則、3年次に進級はできない。学科の基幹教育としての演習であるため、特段の事情がない限り、全出席すること。 ● 生成 AI（ChatGPT 等）を単純に転載した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ● 全 15 回が対面授業（面接授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ● 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。 							